

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 県民参加を広げるスポーツ環境づくり事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 スポーツ交流係 電話番号：058-272-1111（内2618）

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,350 千円（前年度予算額： 4,350 千円）

＜財源内訳＞

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	4,350	0	0	0	0	0	0	0	4,350
要求額	4,350	0	0	0	0	0	0	0	4,350
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

これまで本県では、大規模なスポーツイベント等をターゲットに各種施策を展開してきたが、県民のスポーツ実施率は働く世代・子育て世代、障がいのある方などで低調であり、広く県民にスポーツが浸透するには至っていない。

加えて、コロナ禍により運動・スポーツ機会が失われ、心身の健康への影響が懸念されている。

今後は、これまでの取組みをさらに深化しつつも、県民の方が自ら、気軽にスポーツに取り組み、心身の健康保持・増進を強力に推進できるような環境づくりを進めることが必要である。

(2) 事業内容

- ア ウォーキングアプリを活用したスポーツポイント事業の実施
ウォーキングアプリを活用し、ウォーキングやスポーツイベント・教室への参加によりポイントが貯まり、ポイント数によりインセンティブを付与する。
- イ オンラインウォーキングイベントの開催
春や秋にオンラインウォーキングイベントを開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民が日常的に気軽にスポーツに参加するための環境づくりを進めるため、県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,350	事業者への委託
合計	4,350	

決定額の考え方

（説明文）

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第2期清流の国スポーツ推進計画」

(2) 後年度の財政負担

・第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画基づく事業であり、今後も事業を継続する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

すべての県民がそれぞれのスタイルでスポーツを楽しむことで、生涯にわたる健康づくり、生きがいづくりにつながり、心身ともに健康な社会を実現する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① 成人の週1回以上のスポーツ実施率	33.8%	47.4%	65.0%	65.0%	65.0%	72.9%

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	令和4年8月からアプリの運用及びPR動画の公開、オンラインウォーキングイベントを開催した。令和4年度末のアプリ利用者は5,000人を超えた。アプリ利用者に対して実施したアンケートでは、7割以上がアプリの利用をきっかけに運動機会が増えたとの回答があった。
	指標① 目標：65.0% 実績：49.1% 達成率：75.5%
令和5年度	他の年代に比べ、スポーツ実施率の低い20代～50代の働きざかり・子育て世代をターゲットにしたPR動画の作成し公開をした。さらに、令和5年度に開催した、オンラインウォーキングイベントにパラスポーツ振興部門を新設し、幅広い県民に、スポーツ実施の促進を行った。令和5年度末のアプリ利用者は9,000人を超えた。アプリ利用者に対して実施したアンケートでは、7割以上がアプリの利用をきっかけに運動機会が増えたとの回答があった。
	指標① 目標：65.0% 実績：51.8% 達成率：79.7%
令和6年度	アプリを活用して気軽に運動してもらえよう、スポーツイベントやショッピングモール等でのPR活動を前年度より7回多く実施した。また、5月、10月に実施したオンラインウォーキングイベントによりアプリの利用者が2860人増加した。その結果、令和6年度末のアプリ利用者は12,000人を超えた。アプリ利用者に対して実施したアンケートでは、7割以上がアプリの利用をきっかけに運動機会が増えたとの回答があった。
	指標① 目標：65.0% 実績：47.4% 達成率：72.9%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	スポーツ実施率は目標値に届いておらず、また全国と比較して低調であるため、気軽にスポーツに参加できる本事業は必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	事業開始前と比べてアプリをダウンロードされる県民の方が増加し、自主的なスポーツへの取組みが定着しつつある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	本年度の実績を踏まえて、適宜事業内容を見直しするなど、効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県民のスポーツ参加を促進するため、より効果的な実施が必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
本年度に引き続き事業を継続することで、成人のスポーツ実施率の向上を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	